



オリジナルの取扱説明書の翻訳。

TC3000S

漏れ検知器用テストチャンバー

カタログ番号

600-100

ソフトウェアバージョン

--

mimb95jp1-12-(2501)



INFICON GmbH

Bonner Straße 498

50968 Köln, Germany

目次

1	この取扱説明書について	4
1.1	一般注意事項	4
1.2	警告	4
2	安全	5
2.1	対象の用途	5
2.2	オペレーターの義務	7
2.3	ユーザーへの要求事項	7
2.4	危険性	8
3	納品範囲、輸送	11
4	説明	13
4.1	装置記述	13
4.2	技術データ	15
4.3	デバイス上の記号	16
5	設置	17
6	運転	21
6.1	試験方法	23
7	メンテナンス	24
8	廃棄	25
8.1	テストチャンバーの廃棄	25
8.2	メンテナンス、修理または廃棄のためのCP7の返却	25
9	汚染申告	26
10	EU適合宣言	27

1 この取扱説明書について

1.1 一般注意事項

試験室は、取扱説明書に記載された条件に従って、適切な動作状態で、かつ訓練を受けた要員のみが操作できるものとする。作業員作業員

使用現場において適用されるテストチャンバーの使用に関する規則に注意してください。

この文書およびバッテリー漏れ検知器の取扱説明書の指示に従ってください。

1.2 警告



⚠ 危険

死亡や重傷に至る差し迫った危険な状況



⚠ 警告

死亡や重傷に至る可能性がある危険な状況



⚠ 注意

軽傷に至る危険な状況

注記

環境または物的な損害が生じる危険な状況

2 安全

2.1 対象の用途

テストチャンバーは、リチウムイオンセルおよびリチウムイオン電池のリークテストのためのものです。充電されていないセル／電池は安全に検査することができます。充電されたセル／電池を検査するには、作業員の負傷および物損を防止するために追加の安全対策を講じる必要があります。

- 検査の妥当性を確認のために、リークなしとして準備したセルをチャンバーに挿入します。さらなる危険を発生させることになるセルの準備はユーザーにより行われるもので、検査およびデバイスの一部をなすものではありません。リークのあるセルによる検査は、テストチャンバーの汚染、および場合によっては「感染」の原因となります。テストチャンバーで検査するセルは、適格なものであることを事前に確認しておく必要があります。そのためには、例えば充電されていないセルにリーク検出時の負荷に耐えられるかどうかを確認してください。ユーザーは、作業員および機器の安全に関する適切な処置を講じるものとします。
- テストオブジェクトは、溶媒成分が理想的には炭酸ジメチル（DMC、CAS-No. 616-38-6）で構成される電解液で満たされている必要があります。
- テストオブジェクトの内部構造および外部形状に応じて、テストオブジェクトの局部に機械的な応力がかかることがあります。これによりテストオブジェクト自体、さらにはテストチャンバー内にあるコンポーネントが損傷する可能性があります。
- テストチャンバーとテストオブジェクトの外壁が清潔であることを確認してください。充電されたテストオブジェクトによるリークテストは、さらなる安全上のリスクを発生させるため、必ず適切なトレーニングを受けた作業員により、追加の安全対策を施した後に行う必要があります。
- テストオブジェクトとチャンバー壁の間の短絡を防止するため、納品範囲に含まれるアイソレーターを使用してください。

- ISO-KF16接続部には、資料に記載された規定に従ってオプションで外部ポンプを接続することができます。ポンプは納品範囲に含まれません。ポンプ出力は、40 L/min～1000 L/minの範囲でなければなりません。オプションの外部ポンプは、電気により操作されるバルブ、コルゲートチューブ、および必要に応じて適切なアダプターを介して接続する必要があります。

不適切な使用

次に挙げる状況や用途には使用しないでください：

- 部分的あるいは完全に充電されたセル／電池の追加の安全対策なしでの検査
- 技術仕様外での使用（「技術データ」を参照してください）。
- 耐真空ではないリチウムイオンセル、電池、あるいは他のテストオブジェクトの検査。
- 検査時に発生する負荷に耐えることのできないリチウムイオンセル、電池、あるいは他のテストオブジェクトの検査。テストオブジェクトの内部構造および外部形状に応じて、テストオブジェクトの局部に機械的な応力がかかることがあります。これによりテストオブジェクト自体、さらにはテストチャンバー内にあるコンポーネントが損傷する可能性があります。
- パワーコレクターがテストチャンバー（カバー、あるいは他の導電部分、など）を介してショートされることがあるテストオブジェクトの検査。
- チャンバーのシールリップと接触しているテストオブジェクトの検査。
- 水分を含む、または湿ったテストオブジェクトの検査。
- 周囲温度と著しく異なる温度のテストオブジェクトの検査。
- 損傷しているテストオブジェクト、電池の検査。
- アイソレーターのないテストオブジェクトの検査。
- リチウムイオン電池ではないコンポーネントまたは物質の検査。
- 汚れているテストオブジェクトの検査、汚れているテストチャンバーの運転。
- 爆発の危険がある領域での設置および運転。
- 湿度のごく低い場所での設置および運転。
- 十分なトレーニングを受けていない者によるチャンバーの運転。
- 技術仕様外での使用。
- テストチャンバー内のテストオブジェクト間の距離が不十分。

- 放射能のある場所での使用。
- テストチャンバーの旋回範囲に指があるうちにテストチャンバーを閉じること。
- 許可されていないアクセサリやスペアパーツの使用。
- 訓練または承認を受けていない人による組み立て。組み立ては、必ずトレーニングを受けた者、あるいはINFICONの従業員が行うものとします。
- の排気ライン（「VENT」）と給気ライン（「INLET」）の取り違い。
- 凝縮性の流体および気化ガスの真空排気。
- 寸法の正しくないオプションの外部ポンプの使用。
- オプションのポンプ接続の衝撃的なベントへの使用。
- ベントの際に予期しない動きをする可能性のあるほど小さいあるいは軽いテストオブジェクトの検査。
- 機械によるクリーニングの際にテストチャンバーのシール面を損傷する可能性のある工具の使用。
- 電位平衡化を接続せずにデバイスを操作する。

テストチャンバーは住宅地域での使用を想定しておらず、このような環境における無線受信に対して十分な保護を確保できません。この電池リークディテクターは安全機能を備えていません。強い電磁障害の際には、測定値が誤ったものになる可能性があります。テストチャンバーの機能を定期的に（例えば校正リークごとに）チェックすることをお勧めします。

2.2 オペレーターの義務

- 本取扱説明書および所有者が作成した作業手順書を読み、記載された内容を厳守してください。特に、安全注意事項や警告類には注意してください。
- すべての作業は、本取扱説明書に基づいて実施してください。
- 本取扱説明書に記載されていない運転やメンテナンスに関するご質問については、カスタマーサービスにお問い合わせください。

2.3 ユーザーへの要求事項

次の注意事項は、ユーザー、従業員または第三者が製品を安全かつ効果的に使用する上で責任を負う企業または担当者を対象としています。

安全性を重視した操作

- テストチャンバーおよびバッテリーリークディテクターは、機能や動作に問題がなく、かつ損傷がない場合にのみ操作してください。
- テストチャンバーおよびバッテリーリークディテクターは、本取扱説明書に従って安全性を重視し、リスクに配慮した方法でのみ操作してください。
- 操作要員、テストチャンバー、およびテストオブジェクトにとって適切な環境条件に配慮してください。
- 次の規則に従い、それらが厳守されることを確認してください：
 - 対象の用途
 - 当該の安全注意事項全般および事故防止規則
 - 国際、国内および地域の規格およびガイドライン
 - その他の機器関連の規定や規則
- 純正部品またはメーカーが承認した部品のみを使用してください。
- 本取扱説明書はいつでも閲覧できる場所に保管してください。

作業員の資格

- テストチャンバーおよびバッテリーリークディテクターを用いた作業は、必ず指示された作業員が行うものとします。指示された作業員は、適切なトレーニングを受けている必要があります。これには、漏出した電解液／溶媒により発生する危険委ついで知識も含まれます。
- 任命された作業員が、本取扱説明書やその他該当する文書を読み、理解していることを確認してください。

2.4 危険性

この測定機器は、最新かつ広く認められている安全規則に基づいて製造されています。ただし、不適切な方法で使用した場合、ユーザーまたは第三者の生命および身体への危険、または機器やその他の物的損害につながる危険性があります。



⚠ 警告

危険な材料・物質による健康被害の危険

テストオブジェクトには、たいていの場合健康に有害な物質が充填されています。それらの物質が検査中に漏出した場合は、検査後ユーザーがそれらに触れてしまう可能性があります。

- ▶ 適切な保護服、特に手袋、エプロン、フェイスガードを着用してください。
- ▶ 装置の設置場所では十分な換気が可能なように配慮してください。
- ▶ 皮膚、目、衣服と接触しないようにしてください。
- ▶ この種の物質を吸い込まないようにしてください。
- ▶ 目視点検において損傷の認められない、あるいは電解液または溶媒の臭いのしないテストオブジェクトについてのみ、リーク検査を行うものとします。
- ▶ テストオブジェクトを取り出す前に、内容物が漏出していないかチェックしてください。
- ▶ 排出される電解液成分およびその反応生成物による危険に注意してください。
- ▶ 故障したテストオブジェクトは、リークテストによりリークが大きくなることがあります。大きな漏れのあるテストオブジェクトに関しては、電解液の取り扱いに関する社内規定および安全データシートの安全上の注意事項に注意してください。
- ▶ 有毒ガスまたは腐食性のガスはポンピングしないでください。
- ▶ デバイスは定期的に清掃し、常に清潔な状態に保ってください。
- ▶ テストオブジェクトの安全データシートの安全に関する指示に従ってください。
- ▶ デバイスは、必ず排気接続部を接続した状態で、換気状態の良い場所で使用してください。これに代えて、検査の対象となる危険な物質を監視できるスペースでデバイスを使用することもできます。
- ▶ パージガスとして窒素あるいはアルゴンを使用する場合は、危険な室内濃度では窒息の危険があります。適切な対策を講じる必要があります。パージガス接続部への配管の内圧は、大気圧を100 mbar超過した状態を超えてはなりません。排気ラインが接続されていなければなりません。

**警告****火災および爆発の危険**

火災の際の反応生成物は、さらなる健康に関するリスクとなることがあります。

- ▶ 使用中はデバイスから目を離さないでください。
- ▶ デバイスは、必ず排気ホースを接続した状態で使用してください。
- ▶ 爆発性のガスはポンピングしないでください。

**注意****手の負傷に対する警告**

設置場所の上方および後方のスペースが小さすぎる場合のフラップの開放の際の挫傷の危険。

テストチャンバーカバーとテストチャンバー間、またはテストチャンバーリング間でのスリットのテストチャンバーカバーの閉鎖の際の挫傷の危険。

- ▶ デバイスの設置場所に十分なスペースを確保してください、「セットアップ」も参照してください。
- ▶ テストチャンバーの開閉は、指がテストチャンバーの外部にあるとき、およびテストチャンバーの回転範囲の外側にあるときにのみ行ってください。
- ▶ テストチャンバーを閉じる際はヒンジに手を出さないでください。

**汚れたテストチャンバーによる測定精度**

流出した電解液がテストチャンバーを汚すことがあります。

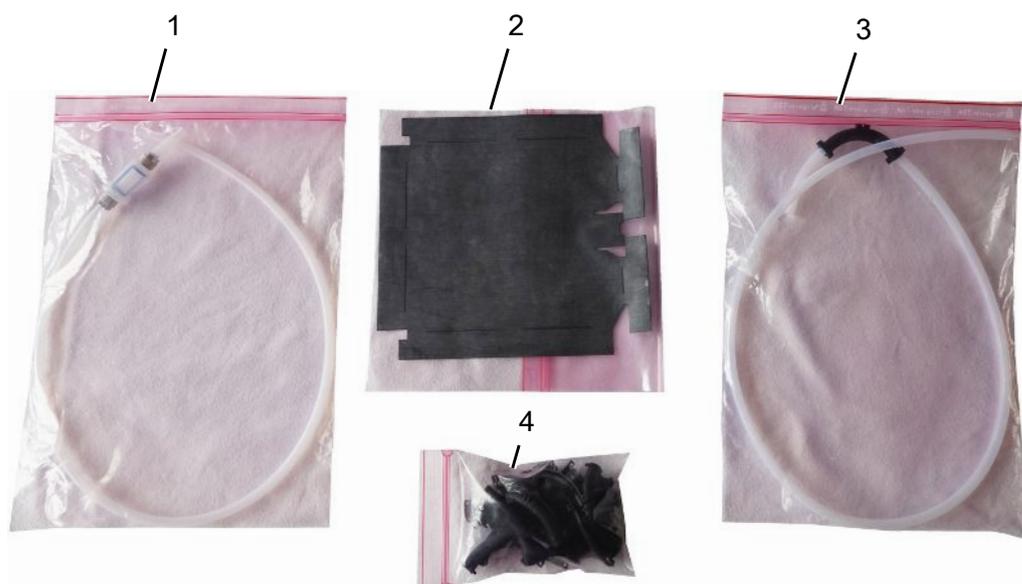
- ▶ リークの検出後、流出した電解液による汚れがないか、テストチャンバーを点検してください。
- ▶ 有害ガスや油蒸気を吸わないようにしてください。
- ▶ テストチャンバーのガスケットは清潔に保ってください。グリースあるいは潤滑剤は使用しないでください。
- ▶ 埃の付いていない布で粗い汚れを取り除きます。このような汚れが原因で測定結果に誤りが生じることがあります。装置はパーズ機能を備えており、この機能は汚れがほとんどない場合に実行できます。ELT3000取扱説明書の「装置のパーズ」を参照してください。その際は個人用保護具を使用してください。

3 納品範囲、輸送

納品範囲

品目	数量
テストチャンバーTC3000S	1
取扱説明書	1
アイソレーター	5
VENT ホース Ø 8 mm、長さ 3 m (GDU)	1
インラインフィルター付きインレットホース	1
8mmの斜め留め金具、2個1組	10

- ▶ 製品の受領時に、すべての品目が揃っていることを確認してください。



1	インラインフィルター付きインレットホース	3	「VENT」ホース
2	アイソレーター	4	アングル固定具

輸送

注記

輸送による損傷

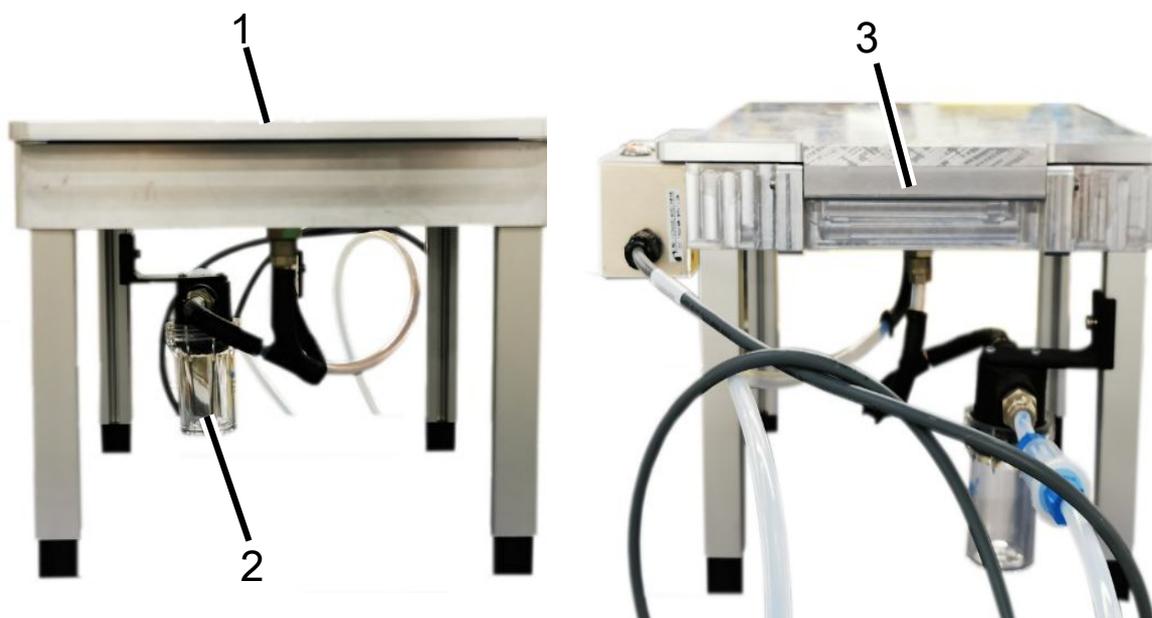
不適切な梱包材による輸送は、装置の損傷につながる可能性があります。

- ▶ 元の梱包材は保管しておいてください。
- ▶ 装置の搬送には、必ず元の梱包材を使用してください。

4 説明

4.1 装置記述

小型剛性試験室 TC3000S



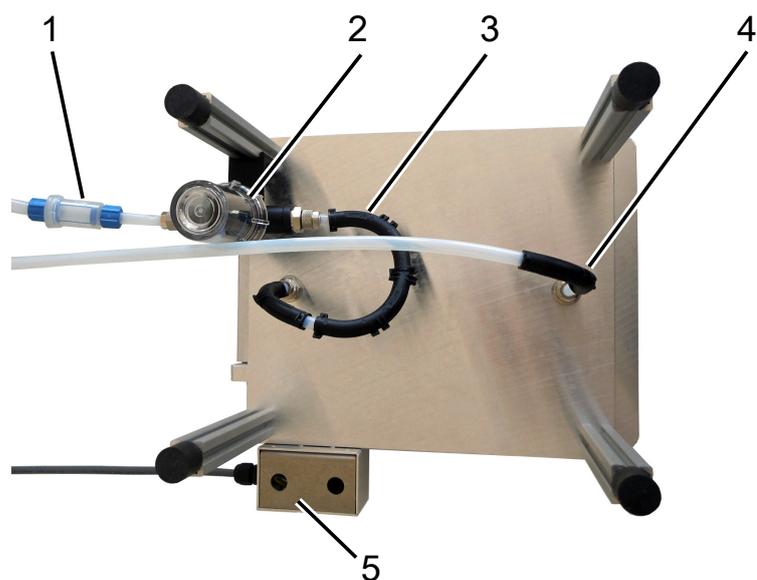
1	正面図	2	背面図
3	液体セパレーター		

恒温槽（天面） TC3000S



1	近接スイッチ	2	ステータスLED 赤
3	ステータスLED 緑	4	試験場
5	Oリング 250x5 mm		

試験室 - TC3000S 下面



1	微粒子フィルター	4	給気（「VENT」）
2	液体セパレーター	5	赤色・緑色表示付き近接スイッチ
3	排気（「INLET」）		

4.2 技術データ

機械的データ

寸法（長さ x 幅 x 高さ）	350 mm x 280 mm x 200 mm
取付け高さ（フィルターを含む）	450 mm
重量	5.4 kg

電気的データ

運転電圧	24 V DC
消費電力	5 VA

物理的データ

圧力範囲	1080 hPa～1 hPa
------	----------------

環境条件

温度範囲 (°C)	10°C～40°C
相対湿度 (%)	30 °Cにおいて80 %、40 °Cにおいて50 % まで線形減少
海拔 (m)	2000 m
汚染度	2

4.3 デバイス上の記号

装置上のマークは次のことを示しています。

	注意：明らかに損傷のない耐真空性のオブジェクトのみを置いてください。
	手の負傷に対する警告
	デバイスは家庭ごみとして廃棄してはなりません。

5 設置

警告

流出した電解液による負傷の危険

液体セパレータで排気ラインと換気ラインが逆になっている場合、液体セパレータはもはやバッテリーテスターに溶剤や電解液が侵入するのを防ぐことはできません。

- ▶ 漏れ検知器に配管を接続する際は、排気ラインと換気ラインを間違えないように注意してください。

注意

デバイスの落下または転倒による負傷の危険

装置が設置面から滑ると、装置が落下し、足が挟まれるおそれがあります。

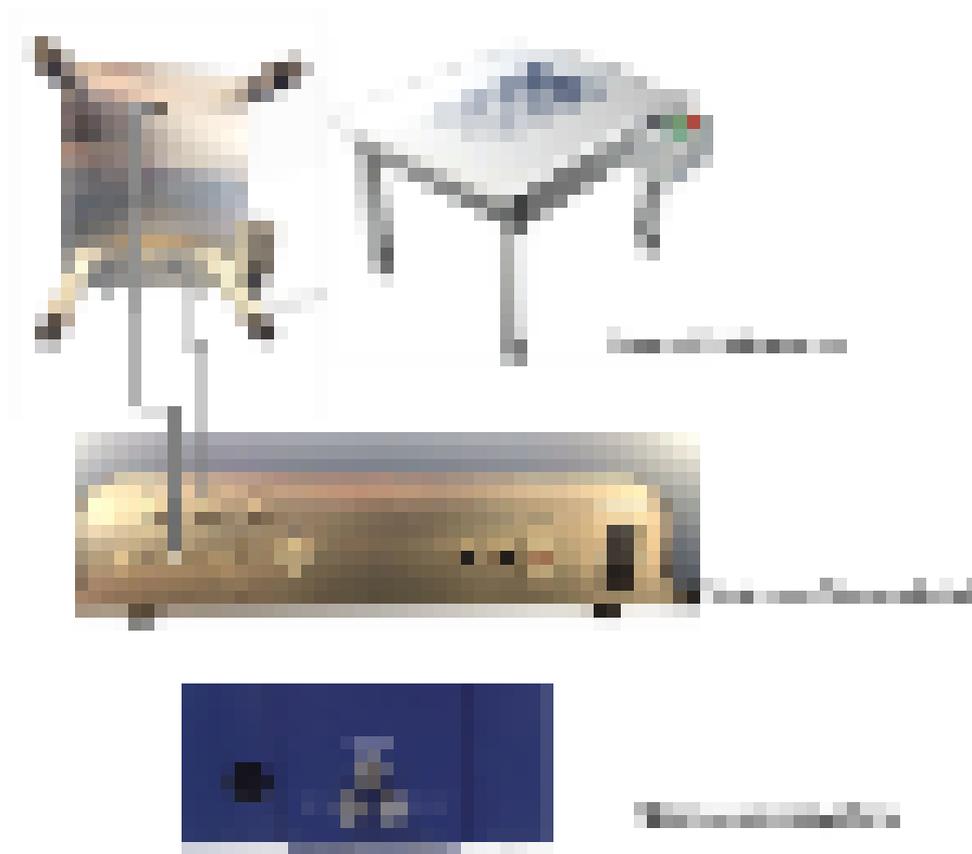
- ▶ テストチャンバーは必ず、水平な、滑らない、振動のない面に置いてください。
- ▶ テストチャンバーを真空コントロールユニットの上に置かないでください。
- ▶ 装置脚部に滑り止めゴムクッションを使用してください。

注記

不適切な取付けによる物損

取り付けは、INFICONあるいはトレーニングを受けた作業員に依頼することをお勧めします。

設置図



1	排気真空制御ユニット	3	供給空気（「VENT」接続）
2	排気（「INLET」接続）	4	近接スイッチ接続部

ポテンシャルイコライザー接続



⚠ 危険

感電の危険性

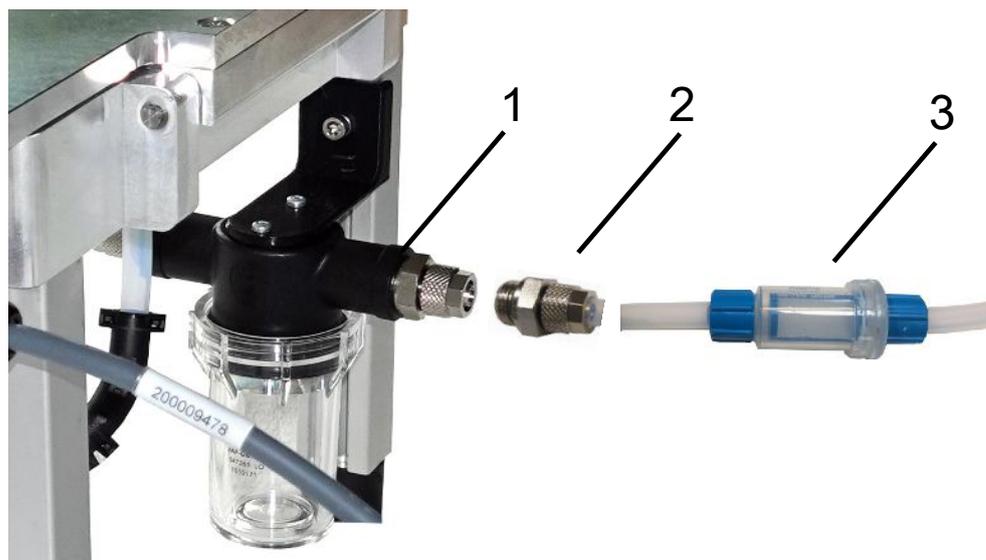
電位平衡化を行わずに試験室を稼働させた場合、危険な感電による身体損傷のリスクあり。

- ▶ 試験室を等電位ボンディングシステムに接続する。
- ▶ 危険な電圧の発生源のすぐ近くでは、テストチャンバーを操作しないでください。
- ▶ 統合運転を行うには、すべてのテストチャンバーを等電位に接続します。こうすることで、テストチャンバーの開閉時の制御不能な静電気の放電を回避できます。



1 テストチャンバー背面の電位平衡接続部

ホース接続



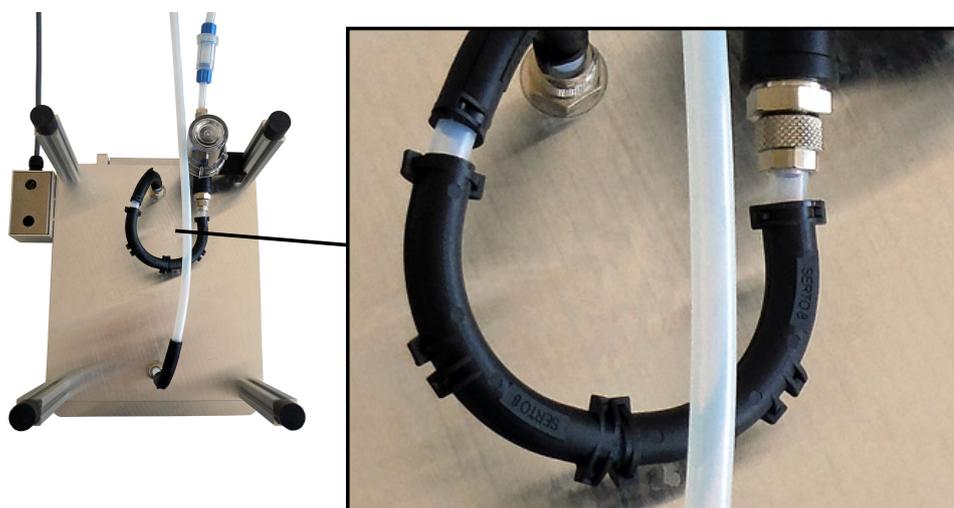
1 組立済みユニオンナット

3 粒子フィルター付き排気ホース

2 ロックナット

- 1 液体分離器から組み立て済みのユニオンナットを緩めます。
- 2 付属の排気ホースにユニオンナットをスライドさせて取り付け、手で締めてください。
- 3 液体セパレーターに粒子フィルター付き排気ホースを手でしっかりと締める。
- 4 同封の角度クリップを使用して、ホースをねじれないように敷設してください。

アングル固定具



6 運転

警告

爆発による負傷の危険

電池の両方の電極が導電性のテストチャンバーに触れると短絡が生じ、それによってテスト対象の電池内が高温になるおそれがあります。

- ▶ 純正のアイソレーターなしで電池の検査を行わないでください。
- ▶ このテストチャンバーでは明らかに損傷のない電池セルのみを検査してください。
- ▶ 電池を損傷する可能性のある物質（例：とがった、角のある物体）がテストチャンバー内にないことを確認してください。
- ▶ 電池は検査時にのみ装着し、常時チャンバー内に放置しないでください。
- ▶ テストチャンバーは清潔な状態に保ち、定期的に清掃してください。
- ▶ 喫煙は行わないでください。
- ▶ 発火源をテストチャンバーに近付けないでください。

警告

気道への刺激

リチウムイオン電池に含まれる溶媒が電池から流出した場合、気道を刺激し、意識混濁に陥るおそれがあります。

- ▶ 刺激を防ぐため、電解質との接触を避ける。
- ▶ テストチャンバーには、耐真空性で明らかに損傷のない電池のみを置いてください。



注意

手の負傷に対する警告

- ▶ テストチャンバーの開閉は、指がテストチャンバーの外部にあるとき、およびテストチャンバーの旋回範囲の外側にあるときのみ行ってください。

⚠ 注意**身体の負荷／人間工学に基づく危険**

テストチャンバーカバーの連続的な開閉により、腕の筋肉が疲労することがあります。

テストチャンバーの不適切な設置により、運動器官の障害が生じるおそれがあります。

- ▶ 疲労を防ぐため、十分な休憩を取ってください。
- ▶ テストチャンバーは、運動器官の障害が生じないように設置してください。
- ▶ テストチャンバーを設置する際には、高さおよびオペレーターとの間隔に注意してください。
- ▶ テストオブジェクトの作業台の配置に注意してください。

注記**溶媒の蓄積または溶媒によるアタッチメント部品の詰まりを原因とする物損**

溶媒の蓄積または溶媒によるアタッチメント部品の詰まりは、機能面の問題の原因となります。

- ▶ 必要に応じて、それ以外の場合は毎年、微粒子フィルターを交換してください。
- ▶ 必要に応じて、それ以外の場合は毎年、すべてのガスケットとホースを交換してください。

6.1 試験方法

このテストチャンバーにより、耐真空性の損傷していないテストオブジェクト（リチウムイオンバッテリー）に対するリークテストが行われます。

テストオブジェクトをテストチャンバーに置きます。カバーを閉めることにより近接スイッチが作動し、測定が開始します。テストの結果は、真空制御ユニットのディスプレイに表示されます。

テストチャンバーから空気を真空排気することにより、テストオブジェクトとテストチャンバー間で圧力低下が生じます。この圧力低下によりテストオブジェクトからリークしたガスがテストチャンバーへと流れます。このガスはガス検知ユニット（GDU）に送り込まれ、分析されます。

分析後、設定されたセットポイントと結果が比較されます。リークなし／リークありの分かりやすい信号が出力されます。

テストチャンバーのカバーを開き、テストオブジェクトを取り出します。テストチャンバーを洗浄する際、またはリークのある状態で検査されたテストオブジェクトを取り出す際には、電解液が皮膚に触れるのを防いでください。

設定されたセットポイントよりも大きなリークが検出された場合は、赤色のLEDが点灯します。

設定されたセットポイントよりも小さなリークが検出された場合は、緑色のLEDが点灯します。

起動時には、両方のLEDが同時に点滅します。

故障が発生すると、両方のLEDが点灯します。

7 メンテナンス

警告

皮膚の化学的熱傷

リークのあるバッテリーからは、電解液が流出するおそれがあります。電解液は、水と結合するとフッ化水素酸となり、非常に高い腐食性を持ちます。

- ▶ テストチャンバーのわずかな目視可能な汚れは、アルコールを使用して慎重に取り除いてください。
- ▶ 電解液に触れないでください。

注意

汚染による負傷の危険

システム内に結晶状の堆積物または液体がある場合、汚染のリスクが高まります。

- ▶ メンテナンス作業時には、常に個人用保護具を着用してください。

微粒子フィルター

- ▶ 毎年、または溶媒の確認可能な蓄積や詰まりがみられる場合などには必要に応じて、微粒子フィルターを交換してください。

液体セパレーター

- ▶ 液体セパレーターは毎年交換し、必要に応じて空にしてください。

Oリング

- ▶ 機能面の問題や外部の損傷がみられる場合は、テストチャンバーのOリングを交換してください。

アイソレーター

- ▶ 機械的な損傷や摩耗がみられる場合には、アイソレーターを交換してください。

8 廃棄

8.1 テストチャンバーの廃棄

デバイスの廃棄の際は、所有者による廃棄処分の実施、またはインフィコンに送付することができます。

このデバイスは、リサイクル可能な材質が使用されています。廃棄物の抑制や環境保護のためにも、リサイクルを推奨します。

- ▶ 地域の環境規制や安全規制に従った方法で廃棄してください。

8.2 メンテナンス、修理または廃棄のためのCP7の返却



警告

有害物質による危険性

汚染されたデバイスは、健康にとって有害となる可能性があります。汚染申告は、デバイスに触れるすべての人を保護する役割を果たします。返送番号と記入済みの汚染申告を添付せずにデバイスをご送付いただいた場合、INFICONは発送者にデバイスを返送いたします。

- ▶ 汚染申告フォームのすべての項目を記入してください。

- 1 デバイスを発送する前にメーカーへ連絡し、すべての項目を記入した汚染申告書フォームを送付してください。

⇒ その後、返送番号と返送先住所が送られてきます。

- 2 返送する際は、元の梱包材を使用してください。
- 3 デバイスを送付する前に、すべての項目に記入した汚染申告のコピーを梱包の外側に添付してください。

汚染申告については、下記を参照してください。

9 汚染申告

Declaration of Contamination

The service, repair, and/or disposal of vacuum equipment and components will only be carried out if a correctly completed declaration has been submitted. Non-completion will result in delay.
 This declaration may only be completed (in block letters) and signed by authorized and qualified staff.

1 Description of product

Type _____

Article Number _____

Serial Number _____

2 Reason for return

3 Operating fluid(s) used (Must be drained before shipping.)

4 Process related contamination of product:

toxic	no <input type="checkbox"/> 1)	yes <input type="checkbox"/>	<p>2) Products thus contaminated will not be accepted without written evidence of decontamination!</p>
caustic	no <input type="checkbox"/> 1)	yes <input type="checkbox"/>	
biological hazard	no <input type="checkbox"/>	yes <input type="checkbox"/> 2)	
explosive	no <input type="checkbox"/>	yes <input type="checkbox"/> 2)	
radioactive	no <input type="checkbox"/>	yes <input type="checkbox"/> 2)	
other harmful substances	no <input type="checkbox"/> 1)	yes <input type="checkbox"/>	

The product is free of any substances which are damaging to health yes

1) or not containing any amount of hazardous residues that exceed the permissible exposure limits

5 Harmful substances, gases and/or by-products

Please list all substances, gases, and by-products which the product may have come into contact with:

Trade/product name	Chemical name (or symbol)	Precautions associated with substance	Action if human contact

6 Legally binding declaration:

I/we hereby declare that the information on this form is complete and accurate and that I/we will assume any further costs that may arise. The contaminated product will be dispatched in accordance with the applicable regulations.

Organization/company _____

Address _____ Post code, place _____

Phone _____ Fax _____

Email _____

Name _____

Date and legally binding signature _____ Company stamp _____

Copies:
 Original for addressee - 1 copy for accompanying documents - 1 copy for file of sender

10 EU適合宣言

**EU Declaration of Conformity**

We – INFICON GmbH - herewith declare that the products defined below meet the basic requirements regarding safety and health, and relevant provisions of the relevant EU Directives by design, type and the versions, which are brought into circulation by us. This declaration of conformity is issued under the sole responsibility of INFICON GmbH.

In case of any products changes made without our approval, this declaration will be void

Designation of the product:

**Chamber for battery leak detector
as interchangeable equipment for
Battery leak detector ELT3000**

Models: **TC3000S**

Catalogue numbers:

600-100

Authorised person to compile the relevant technical files:
Heinz Rauch, INFICON GmbH, Bonner Strasse 498, D-50968 Cologne

Cologne, April 5th, 2022

H. Bruhns, Vice President LDT

The products meet the requirements of the following Directives:

- **Directive 2006/42/EC (Machinery)**
- **Directive 2014/30/EU (EMC)**
- **Directive 2011/65/EC (RoHS)**

Applied harmonized standards:

- **EN ISO 12100:2010**
- **EN 61326-1:2013**
Class A according to EN 55011:2016+A1:2017
- **EN IEC 60204-1:2016**
- **EN IEC 63000:2018**

Cologne, April 5th, 2022

pro

W. Schneider, Research and Development

INFICON GmbH
Bonner Strasse 498
D-50968 Cologne
Tel.: +49 (0)221 56788-0
Fax: +49 (0)221 56788-90
www.inficon.com
E-mail: leakdetection@inficon.com



www.inficon.com reachus@inficon.com

Due to our continuing program of product improvements, specifications are subject to change without notice.
The trademarks mentioned in this document are held by the companies that produce them.